

# ～馬毛島における自衛隊施設の整備について～

《問い合わせ先》

中種子町役場総務課行政係 ☎27-1111 内線(260・211)

国は、馬毛島における自衛隊施設の整備について令和5年1月12日に環境影響評価書を公告し、同日、施設の整備工事を開始しました。

町としては、工事開始後1ヶ月が経過した中で、観光への影響や廃棄物処理の問題、治安や交通安全など住民生活への影響が懸念されることから、町民の安心安全な生活環境の維持のため、意見をとりまとめ、同年2月28日に防衛大臣宛の文書により対策を講じるよう求めたところです。

同年5月12日に国から、地元の声を受けた主な防衛省の対応が示されましたので、町が2月に示した意見の内容と防衛省の回答内容をお知らせします。

また、その際に防衛省から示された「工事及び環境保全措置の状況について」及び別途の機会に国土交通省から示された「ブロック製作、その他工事について」も併せてお知らせします。

## 1. 意見内容及び防衛省回答

①建設事業従事者が本町内の宿泊施設及び空き家等を利用しているが、賃貸物件等の不足や観光への影響が懸念されている。住民生活への影響が軽減する取り組みを行うとともに、宿舍整備計画及び工事詳細、本町に宿泊している従事者数等の情報提供等に努めること。

### 【主な防衛省の対応】

◆種子島の宿泊施設等の空き家状況等への影響を最小限にとどめるため、以下の取組を進めます

- ・馬毛島に3,000室を超える仮設宿舍を建設
- ・種子島の仮設宿舍等の更なる利用等

◆馬毛島の仮設宿舍の建設スケジュール

- ・本年7月頃までに約340室の仮設宿舍の建設を計画

◆工事関係者の人数(R5.4.1現在)

- ・種子島に滞在する工事関係者は約810名  
(宿泊施設約150名、賃貸物件約280名、仮設宿舍200名、自宅等180名)  
※うち中種子町には約100名
- ・ピーク時は、種子島で約2,000名、馬毛島で約4,000名

(工事関係者の推移の見通し)

(単位:名)

	令和5年					令和6年
	4月 (実績)	6月 (見通し)	8月 (見通し)	10月 (見通し)	12月 (見通し)	2月 (見通し)
種子島	約810	約1,000	約1,500	約1,500	約2,000	約2,000
馬毛島	約60	約300	約800	約2,000	約2,500	約4,000
計	約870	約1,300	約2,300	約3,500	約4,500	約6,000

※上記の防衛省からの説明に加えて、民間の事業者により、中種子町内で旧空港前民有地に350戸の仮設宿舍の建設が進められてることを、町として確認しています。

また、他にも建設計画があるようですが、今後、詳細情報が分かり次第お知らせします。いずれにしても、廃棄物の問題や給水等、町民の生活に支障が生じないよう、引き続き、国や民間の事業者に正確な情報提供を求めてまいります。



②建設に起因する廃棄物の処理については、廃棄物の減量化に努めるとともに、島内施設の処理能力を勘案いただき、焼却施設の設置や他自治体への搬出等検討を行うこと。また、処理方針等については島内自治体への報告・協議を行うこと。

【主な防衛省の対応】

◆廃棄物の減量のため、以下の取り組みを進めます

- ・馬毛島内に、**生ごみ処理機、簡易焼却炉、浄化槽汚泥用の脱水装置及び乾燥処理装置を設置**
- ・工事受注者に対し、ごみ排出量の削減やごみ分別のための責任者等の配置を指示

◆住民のご懸念を踏まえ、工事受注者に対し、累次にわたり指示

- ・ごみ出しに際し、**地元のルールに従うこと、近隣住民の方々とトラブルにならないようにすること**
- ・自治会費等を支払った上でごみステーションを利用すること

③建設事業従事者が安全な環境で工事に従事できる体制を構築することは必要不可欠であり、自然災害への対応、事故や傷病等に対する救急体制等確立を図ること。

【主な防衛省の対応】

◆救急体制

- ・**馬毛島の仮設宿舎に医務室を設置し、看護師1名を既に配置**
- ・医師の定期巡回も、医療機関と調整中

◆避難体制

- ・台風時、馬毛島の工事関係者は、原則、仮設宿舎に避難

④建設事業従事者の増加に伴い、種子島島内における経済的効果は大きいと考える一方、治安や交通安全に対して不安を抱く住民も存在するため、建設事業者自ら従事者に対する法令遵守、交通安全等の周知、トラブル回避のための教育を徹底するよう指導を行い、地元住民との良好な関係構築に努めること。

【主な防衛省の対応】

◆住民の方々のご懸念を踏まえ、工事受注者に対し、累次にわたり指示

- ・交通法規の遵守を含め、工事の安全に万全を期すこと
- ・私生活においてもトラブル等が生じないようにすること

◆工事車両の通行ルート沿いの学校等の登下校時に交通誘導員を配置

**※配置する際は、関係地元自治体と場所や時間帯を協議**

◆工事関係者がかかわるトラブル等が生じた場合には迅速な対応がとれるよう平素から警察等との情報交換を実施

⑤建設事業に伴い生じる様々な懸案事項については、国においても関係市町や地元住民との話し合いを行うなど、不安解消のために全力を尽くしていただきたい。また、建設事業に伴う情報等についても速やかな提供を行うこと。

【主な防衛省の対応】

- ◆地元からの様々な声については、九州防衛局種子島連絡所を窓口とし、地域に与える影響を最小限にとどめるよう、引き続き、地元自治体と緊密に連携しながら速やかに対応してまいります。

## 2. 工事及び環境保全措置の状況について

### ○工事状況

区分	これまでの状況 (令和5年4月まで)	現在の状況 (令和5年5月)	今後の予定 (令和5年6~8月)
飛行場施設	伐採工事	伐採工事	伐採・造成工事
飛行場関連施設	伐採・造成工事	伐採・造成工事	伐採・造成・基礎工事
港湾施設	基礎捨石工事	基礎捨石工事	基礎捨石・本体工事
仮設工事	仮設宿舎・仮設沈砂地 仮設プラント工事	仮設宿舎・仮設沈砂地 仮設プラント工事	仮設宿舎・仮設沈砂地 仮設プラント工事

※工事については、環境影響評価書において、概ね4年程度とされています。

### ○環境保全措置等の状況

・陸域動植物等の移動や移植を進めるなどの環境保全措置を実施しています。また、工事中や供用後の環境状態を把握するための調査も実施しています。あわせて、大気質、騒音、振動調査も四半期に一度実施しています。



[写真提供:防衛省]

### 3. ブロック製作、その他工事について

#### ①ブロック製作

・馬毛島の仮設栈橋や係留施設等の整備に必要なブロックを旧種子島空港で製作しています。製作後は、浜津脇港及び仮置き場に運搬しますが、作業期間中は生コン車や大型のトレーラー等工事車両が多く通行します。工事用車両の通行は制限速度を遵守した安全な通行を心掛けるとともに、交通誘導員を所定の場所に配置します。

○作業期間: 令和5年3月～令和8年3月

○運搬作業: 令和5年5月下旬～令和7年12月

★大型工事車両の県道での離合防止について、下記の通り取り組みます。

- ①生コン車の搬入経路と搬出経路を分けます。
- ②ブロック運搬車両については、交通誘導員が無線等で入場管理を行います。
- ③他工事(コンテナハウス)業者とは交通誘導員の会社を同じにし、無線で連携を図ります。

#### 生コン車経路



#### ブロック運搬車経路



〔情報・写真提供：国土交通省九州地方整備局西之表港湾事務所〕

#### ②その他工事

・馬毛島の自衛隊施設整備以外にも、中種子町には自衛隊員用の宿舎及び自衛隊支援施設の整備が予定されています。この整備事業計画についても、国に対して情報の速やかな提供を求めています。

〔種子島の自衛隊員宿舎〕

- 中種子町に整備する宿舎は、宿舎用地の地形や面積等を勘案し、**93戸**となります。
- 西之表市に**97戸**、南種子町に**10戸**の宿舎を計画しています。
- 居住する隊員数は、実際に勤務する隊員数に応じて決まります

■馬毛島における自衛隊施設の整備については、本格的な工事が始まってから5ヶ月程度が経過しているところです。中種子町としても、町民の不安を解消するために、国に対して必要な情報提供を求め、また、鹿児島県や一市二町との連絡会等で課題共有、情報共有を図ってきているところです。今後も、国に対しては町民の安心安全な生活環境を確保するための要望を行い、必要な情報提供を求め、町民の皆さまに正確な情報の提供を行ってまいります。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。